

『時事直言』 No.1460 2021年2月24日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](#)



時事評論家 増田俊男

静かに世界の政治・経済主導権移行が進んでいる

経済も政治も「資本の意志」に従う。

「資本の意志」は「支配の意志」である。

人間は生(命)を与えられた瞬間、母親から命の素(乳)を無償で得る。

親孝行は親から無償で得たすべての返済を意味する。

今時親孝行がはやらないのは「やらずぼったくり」が当たり前になってきたから。

近代が戦争の時代であるのは「やらずぼったくり」を正当化(勝てば官軍)しなくてはならないからである。

戦後の政治と経済は「資本の意志」に従ってきた。

資本金(資本)無くして会社無し、国家予算(資本)無くして国家無しである。

資本(通貨)を発行する権限を持つ中央銀行(FRB や日銀)は経済と政治の見えざる支配者である。

国家の金融政策は中央銀行の占有権限だから金融政策が国家の政治と経済を支配してきたのは当然である。

バイデン大統領の長官等重要ポストの人事を見ると米国人口(3億人)中わずか1.7%(52.7万人)のユダヤ人が50%以上を占めている。

その最たる者が(ポーランド系)ユダヤ人、元FRB議長イエレン財務長官である。

イエレン長官はコロナ救済に関して「予算は大きいほどいい」と言い、1.9 trillion(200兆円)では少な過ぎると言う。

これがかつてのFRB議長かと言わんばかりの議会証言である。

イエレンの財務長官任命の意味するところは経済主導権をFRB(中央銀行)が発行する通貨(当日支払い債務)から連続ロールオーバー(手形の書き換えと同じ)の財務省発行債券(国債)へ移管すること意味する。

共和党がバイデンの超大型財政出動は無駄だらけでやがて財政破綻を招くと言うとパウエルFRB議長とイエレン事務長官はDon't worry(ご心配なく)と笑い飛ばす。

これからは借金(負債)が主で現金(債権)が僕になる時代になることを示唆している。

良くて悪くても勝てば官軍、「借りた者勝ち」という価値観でなくては、世界は次に進めなくなったのである。

「小冊子」Vol.120の「はじめに」で、バイデン大統領がユダヤ資本を代表するイエレンを財務長官に任命した「深いわけ」を解説する。

新しい経済・政治の価値観を知れば、必ず皆様のお仕事の役に立つと思います。

★Youtube「増田俊男チャンネル」にて毎日動画配信中！

視聴方法:Google、Yahoo などから「増田俊男チャンネル」を検索して下さい。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。